

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付けの視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付けがあり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付け」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画「取組みの方向性」への位置付けを検討○
4	千葉県手をつなぐ育成会	○学齢児(18歳まで)の子育ての悩みに対して、専門性を以って保護者との間に立ち、双方に中立的な立場でより良い具体的療育支援計画を立てられ、カンファレンスの場をコーディネート出来る療育相談支援センターの設置が望まれる。特に自閉症スペクトラム児童の行動障害について、学校内・家庭内各々の教員・保護者への包括的アドバイスを行える専門職や療育相談が必須の現状がある。 ○障害のある児童・生徒数の増加により、専門性を持つ教員不足が大きな課題です。特別支援学校及び特別支援学級における知的障害児童及び自閉症スペクトラム児童対応の臨床的専門性を有する教員の増員の施策が必須です。また、特別支援教育支援計画との連携についても、施策に組み込むことを検討する必要があります。 ○放課後等デイサービスの質の確保のためには、児童の視点でのより良い利用のあり方を事業者側が理念として持つように、その指導を施策に組み込む必要があります。また、そのためには、児童の相談支援の充実にも一層の取組みが必要です。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実(4)障害のある子ども一人ひとりが十分に教育を受けられるための取組の充実①幼稚園、小学校、中学校、高等学校において、通常学級の担任をはじめ全教職員の障害への理解促進と障害のある児童生徒への対応、特別な教育的ニーズに応じた指導力を高めるため、研修の充実を図るとともに、保育所、認定こども園、放課後児童クラブにおいても特別支援教育に関する研修の充実を図ります。 4障害のある子どもの療育支援体制の充実(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実③地域の療育支援体制の中核として期待される児童発達支援センター、児童発達支援事業、放課後等デイサービスについて、機能の充実を図るとともに、事業の拡充を図ります。	障害福祉事業課(療育支援班) (教)特別支援教育課	○療育支援		
23	旭神経内科リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援事業	○小児の高次脳支援の充実化	4障害のある子どもの療育支援体制の充実(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実、②(前略)高次脳機能障害、難病等障害特性に応じて療育支援の在り方が異なることから、必要とされる支援のあり方についての検討を行います。	障害福祉事業課(療育支援班)	○療育支援		○
44	(公社)千葉県看護協会	○新聞報道によれば、「発達障害早期発見のため、就学時健康診断実施方法を見直すこと」を文部科学省は決めたとあり、この考え方は第6次千葉県障害者計画に反映することは可能か。該当する対象者がいる場合には乳幼児から引き続き支援が得られるメリットが大きいので、導入は必要と考えられる。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実①「障害の早期発見や早期支援につながるために重要である乳幼児健診の・・・」	(教)学校安全保健課 (教)特別支援教育課	○療育支援		

